

大学院生のボランティア活動の努力が実り 大学と尾張旭市が教育支援で提携

本学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻臨床心理学分野の大学院生は、小学校で発達障害の子どもを支援するボランティア活動を4年前から定期的に行っていました。

活動の始まりは、あるひとりの院生が「子どもたちに対しての臨床をめざしたい」という意向を持っていたことでした。その院生の熱意と意欲を受け、当時の指導教員が研修などで関係していた尾張旭市の公立小学校に「教室へ入って発達障害などの子どもを支援したい」とお願いしたところ、実習生として受け入れていただけることになりました。院生は学習支援で教材などを工夫したり、また休み時間の友達とのコミュニケーションの補助や、場の理解をうながす言葉がけなどを積極的に実施。その結果、子どもの気持ちは落ち着き、他の児童との関係もよくなったという成果があらわれました。この結果をふまえて、より複数の小学校にボランティアを派遣する

など、活動は年を追うにつれどんどん活発になりました。

こうした成果が認められ、今年に入って尾張旭市がこの活動を予算化することになり、本学との間で支援提携を結びました。自身も発達障害と保育の持つ問題に取り組む人間科学部心理学科の川瀬正裕教授は「院生たちは自分たちの努力が実を結び、形になったことを大変喜んでいますが、忙しい合間を縫っての活動ですが、みんな一生懸命頑張っています」と院生たちの功績を称えます。

現在、この活動を行うのは臨床心理学を専攻する院生で構成する「ひまわりの会」。学部生で次年度の大学院入学が認められた合格者もメンバーとして加わっています。4名の教員と心理臨床相談室配置の1名の助教がそれぞれの担当小学校を決めて院生の指導を行い、また学校へのコン

サルテーションなどを行っています。また、ひまわりの会は月に1回のペースで検討会も開催。子どもへの対応などで現状や困っていることをそれぞれ話し合い、助言し合っています。「院生たちはそれぞれの現場で個別指導計画的に様式を整えて詳しく記録をつけています。それは自分たちの臨床実習の成果につながるだけでなく、各小学校の先生方にも大変評価をいただいています」と川瀬教授。今後も地域貢献活動のひとつとして続けていきます。



人間科学部心理学科 川瀬正裕教授

2010年度 聖句 標語

『起きよ、光を放て。
あなたを照らす光は昇り
主の栄光はあなたの上に輝く』

イザヤ書60章1節

私たちは、月夜の晩に、明るい月の光に背を向けながら歩んでいます。自分の影を見ながら、その影の限界を嘆きながら、私たちは歩んでいるのです。そのような私たちに、神様は、「あなたを照らす光は昇っている。それも、あなたの上に主の栄光は輝いている。」と語ってくださるのです。私たちは、その光の方に向きを変えて、その神様の栄光の光の中を歩むのです。そのとき、私たちは、自分の影に捕らわれながら生きるのではなく、主の栄光の輝きの光を放って歩むことができる者とされるのです。そのような、影ではなく、光に向って歩み出す、私たちでありたいと願います。

沖崎 学(金城学院高等学校宗教主事)

本誌「with Dignity」は、金城学院のホームページ
(<http://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。
ご意見、ご感想をお寄せください。

(また、現在お送りしております方で、住所変更や購読中止を希望される方も
ホームページからご連絡ください。)

みどり野会より

「みどり野会」という名前は、大正9年(1920年)に、
聖書の詩篇第23篇
『主はわが**ほくしゃ**牧者なり われ**とも**乏しきことあらじ
主は我を**われ**みどりの野に**の**ふさせ
みきはいこひの水濱にともなひたまふ』
から名付けられました。

みどり野会からのお知らせ

召天者記念礼拝(学院と共催)
[日時/10月30日(土) 10:00~10:45]

恩師を偲ぶ会
[日時/10月30日(土) 11:00~12:00]

第12回ホームカミングデー
「パイプオルガンコンサート」
[日時/10月30日(土) 12:45~]

■場所/金城学院大学キリスト教センター
エラ・ヒューストンホール

■お問い合わせ/
みどり野会事務局本部 TEL052-931-4408
みどり野会事務局分室 TEL052-798-0193